

反訳書 Video2

本件 大阪地方裁判所第16民事部3D係 平成22年(ワ)第13469号
「痴漢騒動侮辱名誉信用毀損慰謝料損害賠償請求事件」

別訴 大阪地方裁判所第16民事部2F係 平成22年(ワ)第12019号
原告：村上光治
被告：石田緑(石田和代の母親) 係属

【原告】

〒536-0024

大阪市城東区中浜2-14-6 グリーンファミリー石田802号

【被告】

石田和代 いしだかずよ

〒536-0024

大阪市城東区中浜2-14-9(登記上の番地) グリーンファミリー石田401号

平成22年 月 日()
原告

【これまでの経過について】

1

被告は、平成22年08月26日(木)午後4時16分ころ、大阪府大阪市 城東区 中本1-4-4 サンディ森之宮店(ディスカウントスーパー)において、原告が食料品を買うために同店舗を訪れたところ、石田緑の娘「石田和代」と偶然にも居合わせたところ、石田緑の娘「石田和代(いしだかずよ)」は、原告が買い物を済ませようと、レジで支払いを済ませて購入した食料品を整理していたら「石田和代」から原告に近づき言い寄って来て、原告に向かって、小声で、「変態、きちがい」などと罵った事実である。

2

原告が、被告「石田和代」に対して裁判所(別訴 大阪地方裁判所第16民事部2F係 平成22年(ワ)第12019号係属)でして下さい、責任を取り慰謝料を払って下さいと原告が、被告に対して「小声」で抗議したところ、被告「石田和代」は、原告が、同店を出るのを待って、原告の後ろ側の後方から、自転車に乗り勢いよく走って近づき、走り去る際に、「この変態、きちがい」と、原告に向かって確信して罵った事実である。

3

原告は、被告「石田和代」を捕まえようと、「おい待て」と言って追い駆けたが、被告は、逃げざまに、原告に向かって、「痴漢、痴漢、この人、痴漢」と、大声で叫びながら自転車で走り去り逃げていった。

原告は、直後、携帯電話で110番通報して「侮辱」被害にあった事実を告げ、通報で駆け付けた警察官がその対応と処置に当たった（甲4号-1～3の地図により証明）。

4

原告は、被告「石田和代」から、男として最大の屈辱と侮辱行為を受け、著しく社会的な名誉信用を毀損された事の実に基づき、110番通報して駆けつけて来た城東警察の警察官と原告との会話を原告宅の玄関付近で防犯カメラにより撮影した映像（録音録画）であるが、この中で、警察官は、石田緑の娘「石田和代」本人に対して、事実確認を取るために、任意で事情を聞き取り、被告「石田和代」は、事実を認めた上で、今後は「道」で会っても、何もしない事を約束させた旨、警察官が原告に説明している様子である。

が、しかし、本当に悪いと反省しているなら、警察官と一緒に、原告宅まで謝罪に来るはずであるが、石田緑の娘である被告「石田和代」は、謝罪に来なかった。現在に至っても謝りに来る気配すら感じられなく、被告「石田和代」から著しい精神的苦痛を受けた。

1号 -2	平成22年08月 26日（木） 午後16時58分 51秒 ※マスタに記録された時刻スタンプを表示	CD Video 2 録音録画 原告802号の 玄関付近で撮影した防犯カメラの映像。	被告の石田和代から、男として最大の屈辱と侮辱行為を受け、著しく社会的な名誉信用を毀損された事を証明	原告	原本
----------	--	--	---	----	----

この点について、「不知とも否認」もできない事を事実経過から、証明する。

録音日時

平成22年08月26日（木）午後16時58分51秒

※マスタに記録された時刻スタンプを表示

ダビング（未編集未加工で部分抜粋）日時

平成22年08月26日（木）午後18時51分34秒

【反訳】

警察 あ、どうもどうも・・・（原告 うん）、

警察

さっきの、いや・・・、

原告

いま、カメラまわってますよ、

警察

うん、べつにええですよ、

原告
防犯カメラまわってますよ

警察
さっき、言うた通りです、あの、お互いに、あの、干渉すんなど、

原告
ありがとう、

警察
なんかあるんやったら、裁判で、決着つけ・・・
て、言う事を相手に伝えたら、
わかりました、と、・・・
これからは、もう道で会っても、
あの言うたらもう、そのまま、無視にした言葉悪いけど、
もう、ずっと、行きます言うことで（原告 ありがとう）、やりましんで、
ほな僕ら帰らしてもらいますね、

原告
で、あと、この隣の子・・・が、ちょっと「おかしくて」、「暴れるんですよ」・・・、

警察
うん、ほんなら、帰らしてもらいますね（今回の石田和代の件とは別件だから、いま
対処できないと、言う意味です）、僕ら、・・・はい、・・・

原告
で、え・・・っと、

警察
・・・さっき言う、・・・

原告
本人、本人、

警察
車（110番通報で駆けつけたパトカーの車内）の中で約束したじゃないですか、

原告
本人（本人とは、「石田和代いしだかずよ」本人の事を言う）、

警察
いや、こっちの事（隣の子がちょっと「おかしくて暴れる」件）は、

原告
本人、それとも、おばあさん、あの、石田みどりのおばあさん、被告（被告とは、石田緑
いしだみどり、本件被告の事を言う）、

警察

いや、被告、言うか、まあまあ、本人（原告 本人・・・）、

警察

本人、おったから、下、「散髪屋」さん、

原告

娘、娘のほう（警察 うなずく）、・・・

警察

娘、娘、・・・その本人に確実に言ったから、それ、間違いないから、

原告

ありがとう、

これ、いま、カメラ、音声と両方を撮ってるから（警察 うなずく）、
場合によっては、これ、出しますので（警察 うなずく）、

警察

じゃ、帰りますので、

原告

ありがとう、本当に、

以上